

PHILIPS

Healthcare



第43回日本超音波検査学会学術集会 ランチョンセミナー4 (LS4)

日 時：2018年6月2日(土) 12:00 - 13:00

会 場：第6会場 大阪国際会議場10階 会議室1006-7
大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

座 長：石井 克尚 先生(関西電力病院 循環器内科)

臨床に用いるスペックルトラッキング 何を、どんな時に計測する？ —マニュアル法の限界と自動化の未来—

演 者：合田 亜希子 先生(兵庫医科大学 内科学・循環器内科/冠疾患科)

機器展示会場のご案内

Live3Dボリュームから迅速に、
簡便に、そして再現性のある
LVおよびLA定量化を実現する
HeartModel^{AI}を
ご案内いたします。

会 期：2018年6月2日(土) -3日(日)
会 場：大阪国際会議場3F イベントホールBCD
展示装置：超音波診断装置 EPIQ 7
超音波診断装置 Affiniti
超音波診断装置 CX50
AI Breast
eL18-4 PureWave リニアトランスジューサ



共催
第43回日本超音波検査学会学術集会
株式会社フィリップス・ジャパン

本学術集会ランチョンセミナーは事前申込にて予め予約を受け、当日受付の際にランチョンセミナー参加ラベルを発行いたします。
ランチョンセミナー参加ラベルは講演開始と同時に無効となります。

臨床に用いるスペクトラッキング

何を、どんな時に計測する？

—マニユアル法の限界と自動化の未来—

兵庫医科大学 内科学・循環器内科/冠疾患科 合田 亜希子

スペクトラッキング法を用いたストレイン、特にGLS (global longitudinal strain) の有用性について多くの報告がなされ、日常臨床での使用が広がってきている。問題とされていたベンダー間でのストレイン値の違いに関しても、2015年に7ベンダーの心エコー装置と2種類のストレイン解析ソフトウェアを用いて、GLSの計測再現性とベンダー間での値の差異を検討した研究結果が報告された。それによると、シン普森法で計測したEFの相対的平均誤差は約10%であり、GLSに関しては、ほとんどのベンダーでEFよりも有意に相対的平均誤差が小さかった。GLS計測値はベンダー間でわずかながらも統計的に有意な差が認められたが、その差異は縮まってきていると言える。EFより高精度と考えられるGLSが、心筋障害の早期発見目的にEFにとって代わる時代が来る予感はあるものの、いまだ実臨床に広く用いられているとは言えない。現在GLSの臨床応用が進んでいる分野の一つにOnco-cardiologyがあり、抗癌薬治療による心筋障害の早期発見に関してGLSの有用性が報告され、ガイドライン中でも計測がすすめられている。しかし、Onco-cardiologyの分野のみならず、GLSの有用性についてはさらなる臨床エビデンスの蓄積が必要であり、現段階ではエビデンスに富んだEFを併用して治療方針を決定するスタンスは変わらないと考える。本セミナーでは、スペクトラッキングをどのような症例、どのような場面で応用可能か、EFの有用性とあわせて考察したい。

株式会社フィリップス・ジャパン

〒108-8507 東京都港区港南 2-13-37 フィリップスビル

お客様窓口 0120-556-494

03-3740-3213

受付時間 9:00～18:00

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

www.philips.co.jp/healthcare

